

令和5年度 収入支出予算の 報告

予算総額は

34億4,980万円

**疾病予防と医療費の適正化に
努めてまいります**

健保を取り巻く状況

日本は急速に少子高齢化が進行しています。令和4年版『高齢社会白書』によると65歳以上の高齢者人口は3,621万人となり、総人口の28.9%を占めています。高齢者の総人口に占める割合は、1950年では4.9%だったことを考えると、高齢化が社会や経済に与えるインパクトの大きさは、計り知れません。

全国の健保組合は、高齢者の医療を支えるために、多額の納付金を拠出しているため、社会の高齢化は多くの健保組合の財政を悪化させる構造的な問題となっています。令和7年までには、人口のボリュームが多い「団塊の世代」がすべて75歳以上（後期高齢者）となるため、納付金の負担増が懸念されています。

このような状況に対して、全国の健保組合が加入している健康保険組合連合会は、「現役世代の負担軽減と、全世代で支え合う制度への転換」などを国に対して強く求めています。

令和4年度着地見通し

・令和4年度総収入は予算額(3,505百万円)より

109百万円少ない3,396百万円、総支出は予算額より1,463百万円少ない2,042百万円となる見込みです。

・従って令和4年度の決算残金は1,354百万円となり、このうち100百万円は準備金保有率100%を維持するため準備金に積み増し、残り1,254百万円を令和5年度に繰り越す予定です。

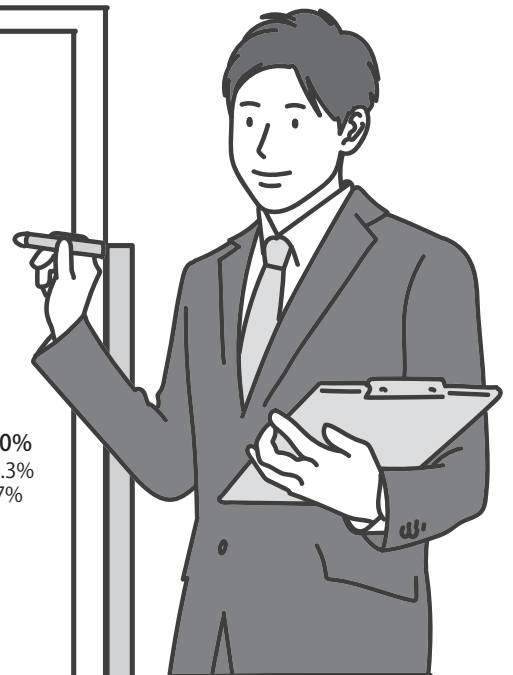
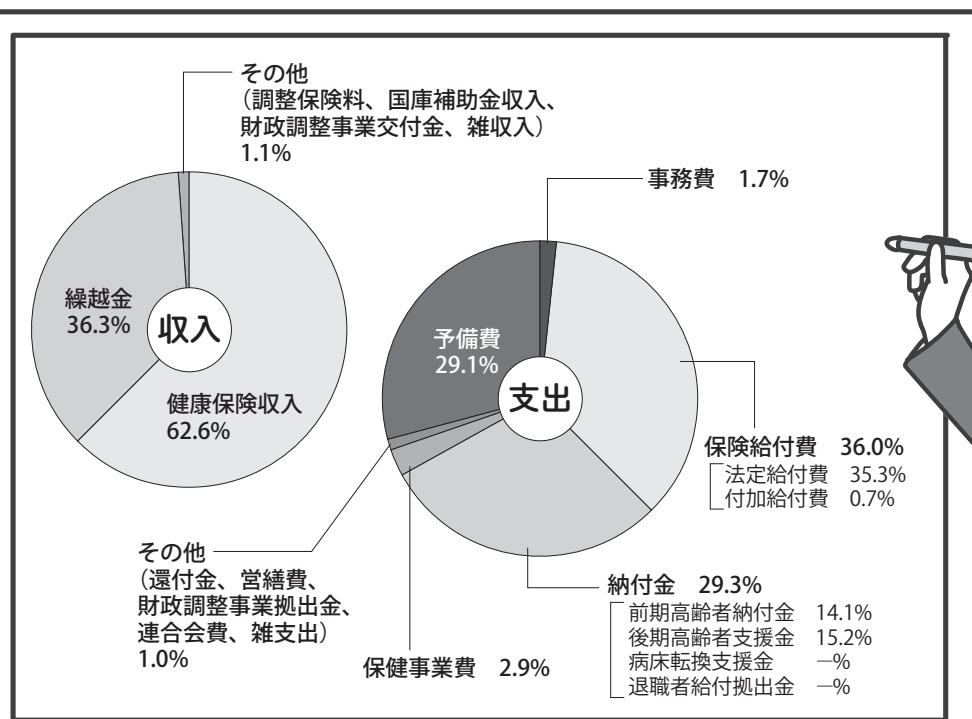
令和5年度保険料率

・保険料率は前年度と同率の9.4%で変更ありません。

令和5年度予算

・令和4年度は被保険者数5,615名、平均標準報酬月額299,768円、賞与総額2,614百万円、保険料収入は2,074百万円の予算でした。

・令和5年度の基礎数値は被保険者数6,100名、平均標準報酬月額291,540円、賞与総額2,372百万円で、保険料収入は2,160百万円を見込んでいます。前年度繰越金1,254百万円等を見込んで、収入合計3,450百万円です。



令和5年度予算概要

←一般勘定

●収入 (千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
健康保険収入	2,159,611	2,074,380	85,231
{ 保険料	2,158,850	2,073,676	85,174
{ 国庫負担金収入・他	761	704	57
繰越金	1,253,565	1,392,095	-138,530
調整保険料	30,984	32,489	-1,505
国庫補助金収入	256	302	-46
財政調整事業交付金	5,000	5,000	0
雑収入	382	618	-236
合計	3,449,798	3,504,884	-55,086

●支出 (千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
事務費	60,117	58,950	1,167
保険給付費	1,238,868	1,091,671	147,197
{ 法定給付費	1,216,357	1,070,114	146,243
{ 付加給付費	22,511	21,557	954
納付金	1,012,186	923,969	88,217
{ 前期高齢者納付金	487,081	441,257	45,824
{ 後期高齢者支援金	525,098	482,699	42,399
{ 病床転換支援金	1	2	-1
{ 退職者給付拠出金	6	11	-5
保健事業費	99,185	97,813	1,372
還付金	105	105	0
営繕費	2,000	2,000	0
財政調整事業拠出金	30,984	32,489	-1,505
連合会費	1,402	1,273	129
雑支出	200	200	0
予備費	1,004,751	1,296,414	-291,663
合計	3,449,798	3,504,884	-55,086

←介護勘定

●収入 (千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
介護保険収入	93,117	94,395	-1,278
繰越金	2,007	521	1,486
繰入金	0	400	-400
雑収入	4	4	0
合計	95,128	95,320	-192

●支出 (千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
介護納付金	85,995	89,931	-3,936
還付金	20	10	10
積立金	0	0	0
雑支出	10	1	9
予備費	9,103	5,378	3,725
合計	95,128	95,320	-192

資産と支払余裕金の推移

・健康保険組合の資産は法定準備金、任意積立金、支払余裕金の形で保有しています。令和3年度決算時点では、法定準備金200百万円、任意積立金224百万円、支払余裕金1、362百万円で、合計1、786百万円でした。

・令和4年度決算時点では法定準備金300百万円、任意積立金224百万円、支払余裕金1、254百万円、合計678百万円の見込みです。

・令和5年度の決算見込では法定準備金・任意積立金（令和4年度同額）に加え支払余裕金1、005百万円で、合計1、529百万円の見込みです。経常支出合計2、412百万円の約7・6ヶ月分の資産を保有できる見込みです。

介護保険

・令和4年度着地見通しは収入合計が予算95、320千円より2、515千円少ない92、805千円、支出合計が89、931千円、従って決算残金は2、874千円となりました。このうち867千円を準備金に積み増し、残り2、007千円を令和5年度へ繰り越す予定です。

・当健保組合の令和5年度保険料率は令和4年度と同じ料率1・74%とし、収入は介護保険収入93、117千円、繰越金2、007千円等で合計95、128千円を見込んでいます。支出は納付金への支出85、995千円、予備費9、103千円等で収入と同額を見込んでいます。令和6年度へ9、103千円を繰り越す予定です。

当健保組合は、今後も医療費削減のために、ジェネリック医薬品の使用促進、医療費通知の実施、レセプト点検、被扶養者資格確認、柔道整復療養費適正化およびレセプト情報や特定健診・特定保健指導の結果に基づき疾病予防・早期発見・早期治療への取り組み等を推進してまいります。また事務やシステムの合理化をすすめ経費削減に努めてまいります。限りある保険料収入を効率的に活用して、みなさまの健康と安心を支えてまいります。